

## 委員会等の会議録

1 会議名	第1回愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2 議題	(1) 協議会会員について (2) プラン確認について (3) 今後の実践及び予算化の具体について (4) その他	
3 開催日時	平成29年4月27日(木) 14時00分から16時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 議員協議会室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	吉村 克己、原田 達也、河野 仁、吉田 浩、小野山 純平、 孝野 覚也、酒井 眞理子、山本 哲也、和家 重富、山田 聡、 岡月 康一、松田 昌治、木村 勝彦、藤田 重徳、永井 伊秀	
7 担当所属	所属名	農林課
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 山本 正文 係長 近平 高宜
	所属名	農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	JA えひめ南 南宇和支所 源 良行 課長補佐 猪野 博基
8 その他の 出席職員	所属名	愛媛県南予地方局 産業振興課 産地育成室
	出席職員 (職・氏名)	専門員 玉井 敬久
	所属名	愛南農業指導班
		担当係長 長谷川 進一
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
吉村課長	(開会あいさつ)
(事務局) 近平係長	<p>早速ですが、議題(1)協議会会員について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>平成29年度から愛南町懇話会等の設置及び運用に関する要綱の一部改正を行っています。改正内容は、愛南柑橘営農環境改革推進協議会の目的について、柑橘営農改革プランの実践を追加したことと、委員数を15名以内から20名以内に変更したことです。今回、2名の方に新規の委員になっていただきました。岡月委員と永井委員です。岡月委員は現在、味楽共選南宇和支部長で前任の塚岡委員からの推薦により後任となりました。永井委員は県立南宇和高等学校の教頭をされていて、今後、高校生とのコラボレーションの中で愛南柑橘の更なる推進を図りたいと思います。</p>
吉村課長	<p>2名の委員の方に自己紹介をしていただきたいと思います。(永井委員、岡月委員自己紹介)</p> <p>議題(2)プラン確認について、事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局) 近平係長	(愛南柑橘営農環境改革プラン(概要版)により説明)
吉村課長	質問はありますか。
委員全員	(質問なし)
吉村課長	議題(3)今後の実践及び予算化の具体について、事務局から説明をお願いします。
(事務局) 近平係長	(次世代柑橘経営者育成事業について説明)
吉村課長	<p>山下仁大さんと敦子さんのセミナーについては、是非実施できればと思います。これ以外に農業者や経営者など意識の改革を狙ったセミナーについて、意見はありますか。</p>

小野山委員	<p>私は青年農業者と高齢農業者の中間ぐらいの年齢です。若い青年農業者は馬力があるので、条件が悪い園地が普通だと思っており、特に現状に問題あると思っていない。特に 30 代前半はそういう感覚があります。高い意識啓発のセミナーも良いですけれど、愛南町の人口減少など危機感を共有できる内容もありなのではないでしょうか。日本や町全体の今後の現実的な話が知りたいし、聞きたいです。</p>
吉村課長	<p>愛南町の人口も 2050 年は 6,000 人ぐらいまでに落ち込む推移が示されています。現実的な話の中で、そういう危機感を共有できる話合いも一つの案としてお伺いしたいと思います。</p>
藤田委員	<p>内子町の知的農村塾も特徴的です。内子町ではこの塾を 30 年前から行っており、町長が塾長となっています。循環型営農の取組など、全国的に知名度のある方を呼んで勉強会を行っています。1 回に 500 円ほどでチラシ等を配って周知を行い、通常 50~60 人の参加があるようです。この塾を推進する運営委員会を毎年開いて、講師の選定も行っているようです。もも、ぶどう、かき等の収穫に重ならない農閑期に講座を組み込んでいるようです。講師を別に選定していただけるのであれば、加工場や園地整備の実践もあるので、掘り下げた勉強会を仕組むのも良いと思います。こちらは、秋から冬の間研修のテーマを見つけ、実施してはどうでしょうか。スキルアップにも繋がると思います。</p>
山本委員	<p>河内晩柑を販売していくのが目的ですよね。生果を売り込むということで、最初から加工ありきで話をする必要はないと思います。生果で進めていくことも一つの手だと思います。以前、和歌山の人で有田の方だったと思うのですが、河内晩柑を食べて「めちゃくちゃおいしい。こんなうまいミカンはない」とのことで苗木が欲しいとの要望がありました。こちらの当たり前が全国に広まっていない可能性はあります。まずは生果を売っていくことです。生果が売れなければ、加工はついていきません。広めていくことも戦術だと思います。そのような戦術の講師を招いてみてはどうでしょうか。</p>
吉村課長	<p>生果の直接販売ですか。柑橘のマーケティングができる人に講演してもらうこともできるかと思います。意見がなかなか出</p>

	<p>ないようなので、事務局で3回程度のセミナーを考えさせていただいて構わないでしょうか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
木村委員	<p>生果を売るという話ですが、例えば有名な俳優が「うまい」と言えばそれだけで需要も変わりますし、インパクトになると思います。そういうブランディングも考えたらと思います。</p>
吉村課長	<p>昨年「満天青空レストラン」の取材で、愛南町に芸人の宮川大輔さんと麒麟が来ました。ブログに出してもらったりしたそうです。</p>
木村委員	<p>番組の一つを借りるぐらいの勢いがあっても良いと思います。例えば反響のあったNHKなどはどうなのでしょう。</p>
吉田委員	<p>NHK などメディアを活用したマーケティングのやり方はいろいろあると思います。伊賀の里モクモクファームなども一例です。しかしメディアも同じことに慣れてくると取り上げなくなります。メディアは基本的におもしろくない内容だと来ません。しかし逆にありえない広告費をもらえる可能性もあります。民放は企画がすぐ変わるので、注意しておく必要があります。</p>
吉村課長	<p>デザイナーの(株)NINO さんに昨年度末に話を聞く機会がありました。デザイン料など高価ではありますが、「ひめくら」の件もありますので、検討していくものおもしろいかと思います。セミナーは堅いイメージでは考えていません。いろいろな意見が出るような内容にしたいです。また、今回のプランを中心にワークショップ形式という手法もありますし、小野山委員が言われるように、愛南町の現状に触れ、こういった形で落ち込んでいくのかといったような飽きない方法でできればとも思います。確かに高校生の数など減っていますし、年間出生率をみても100人程度しかいない現状です。</p>
山田委員	<p>人口は10年経ったら目に見えて減るでしょうし、効率の悪い農地はなくなっていくでしょうね。</p>
吉村課長	<p>優良園地の検討はすべきですが、作業場所が悪いというだけ</p>

	<p>ですぐに耕作放棄地になるのはもったいないとも思います。水田活用も考えたいです。柏地区でも遊休となった平地がみられます。</p>
和家委員	<p>基盤整備もしていないところもありますしね。</p>
吉村課長	<p>高速道路建設の関係で残土も出ます。造成されれば畑につくり変えるというのもあり、そこに柑橘を植えるというのも手だと思います。水田から畑の転作は基盤整備が完了したところでも実施可能と聞いています。</p>
(事務局) 近平係長	<p>(次世代柑橘経営者育成事業は事務局に一任する形で決定(ワークショップ、山下さんの講座、愛南町の現状を知り危機感につながるもの等(※この3つの実施が主)))</p> <p>(先進地視察は、9、10月の秋季に今治の加工場視察でアイシス、山蔵を予定しており、9月など委員方の忙しくない時期に実施を検討したいことで合意。また、ダブル講師でセミナーを実施することについて検討するという意見あり)</p> <p>(柑橘営農活性化のための情報発信事業・あいなん柑橘リクルート事業について説明)</p>
吉村課長	<p>農業支援を実現するHPを作成したいと思っています。そこには国、県の補助事業の一覧やQ&amp;Aなどを掲載したいとも考えています。</p>
酒井委員	<p>情報が1か所に集約されることは良いことだと思います。</p>
吉村課長	<p>初めから完全なものはできませんので、何年かに分けて内容を充実させればと考えています。また、就職支援センターとの連携も考えていますので、取扱に資格が必要かどうか等の検討もします。また「ひめくら」の紹介なども考えられます。</p>
原田委員	<p>風船ゼリーなども松山空港で取り扱われているのですよね。</p>
(事務局) 近平係長	<p>(優良園地整備事業、鳥獣害防止対策推進事業、加工施設整備事業及び共同利用可能な施設整備事業について説明)</p>
吉村課長	<p>農業委員会などで運用ルールを検討する必要があります。ち</p>

	<p>なみに基盤整備が完了した水田の園地化は可能だと確認しています。水田の園地化はいろいろなやり方があると思いますが、予算配分や優良園地化について、どこか水田を対象とするのか、もし案があれば皆さんから提案をいただければ有り難いと思っています。ほかにも愛媛県を通して吉田委員や河野委員から園地造成の話もあがっています。緑地区1か所や柏地区一か所など、そういう考えでいますが、委員さんの中でどこか想定しているところなどはないでしょうか。</p>
河野委員	<p>条件の良い箇所の段畑化は、是非やっていただきたいと思います。</p>
吉村課長	<p>平山地区の話ですか。</p>
河野委員	<p>そうです。条件的にはどうでしょうか。</p>
吉村課長	<p>気候条件、立地条件など様々でしょうが、私は素人なので、逆に御提案いただきたいです。</p>
藤田委員	<p>園地造成についてですが、水田ではなく段畑を園地にしようと考えられているのですか。また、その園地を経営していくのか、土地は借りるのかなど、様々な制約があります。</p>
吉村課長	<p>経営を考えるのなら、整備事業業化を考えないといけないと思います。</p>
原田委員	<p>土壌改良なども必要でしょう。水田と畑が隣あっても共有できるような対応を是非検討していただきたいです。</p>
吉村課長	<p>品種によっては、根腐れなども考えられます。その場合は、暗渠を多く入れるとか、排水性を良くするとか、畝立てを高くするとか、畑地化に対する配慮の検討も考えないといけないと思います。</p>
原田委員	<p>現在、案として持っている箇所は、一円の水田の端の方を考えています。</p>
吉村課長	<p>畑にした場合、農薬の問題などその周辺の水田に影響がない</p>

	<p>よう配慮しないといけないと思います。</p>
酒井委員	<p>前から言われていた柏地区はどうでしょうか。</p>
山田委員	<p>柏地区でも、地主との相談が必要だと思います。</p>
吉村課長	<p>鳥獣害対策については、ワイヤーメッシュの張り方も影響すると思われます。</p>
山田委員	<p>狩猟免許取得について、年に何回ぐらい実施されるのでしょうか。</p>
木村委員	<p>1年に1回しか受けられません。</p>
吉村課長	<p>箱ワナについては、菊川地区の緒方さんが会長で行っています。</p>
河野委員	<p>箱ワナの柵はどうしているのですか。</p>
吉村課長	<p>被害があるところは、町で設置をしています。基本は流用していますが、毎年、新規の設置(なるべく二人で持つことができる軽く運びやすいもの)もあり、購入しています。鳥獣対象によって補助金を出しています。</p>
原田委員	<p>ワイヤーメッシュは要望があれば申請すれば良いのですか。</p>
吉村課長	<p>補助については、国庫補助や特別交付金などがあり、条件に応じて要望に応えられます。</p>
原田委員	<p>3戸以上でないと申請できないのでしょうか。</p>
吉村課長	<p>現場の状態を確認してからになりますが、その対象区域が一つなら、取りまとめは可能です。</p>
吉村課長	<p>加工施設整備については国の補助を考えています。その場合、事業計画を立てなければなりません。B/Cなどの費用対効果もも算出する必要がありますので、今後、柑橘農家向けのアンケート等を通して検討していきたいと思います。事業計画書につい</p>

<p>(事務局) 近平係 長</p>	<p>では、来年度を目標に作成していきたいと思います。共同利用についても、今すぐの実施とはいきませんが、同じような流れですので、しばらくは様子を伺いたいと思います。</p> <p>(販売促進・PR 事業、愛南柑橘ブランディング事業及び次世代の愛南柑橘導入事業について説明)</p>
<p>吉村課長</p>	<p>ブランディングについて御意見がないようですが、河内晩柑の機能性について7月に県知事発表があり、良い結果として報告がありそうとの方向で聞いています。また、販路の検討についても、今年度1年かけて、フジ等と交渉を進めたいと思っています。特にエミフルMASAKIの方で販売促進やアンケート調査をしたいと考えています。その他で何かありますか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>是非メディアリリースを考えて、常に念頭において計画して欲しいです。</p>
<p>吉村課長</p>	<p>タイミングもあるとは思いますが。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>アンケートの内容で「食べたことがない」という項目がありませんが、構わないのですか。</p>
<p>(事務局) 近平係 長</p>	<p>訂正します。</p>
<p>原田委員</p>	<p>河内晩柑のシールはなかったですか。なーし君シールでしたかね。農業支援センターでそのシールをなるべく使うように、活用して欲しいです。シールを箱に貼ることも検討してはどうでしょうか。</p>
<p>(事務局) 近平係 長</p>	<p>高校生とのコラボで協力できることがあれば相談させてください。</p>
<p>河野委員</p>	<p>「あいなん柑橘リクルート事業」の件ですが、吉田町ではJAと連携して受入れ体制となる宿舎の話を行いました。是非愛南でも受入れ体制の在り方を考えて欲しいと思います。</p>
<p>吉村課長</p>	<p>愛南町では水産課でも受入れを考えています。ほかにも閉校</p>



	<p>学校などで費用対効果等が整理できれば、受入れも可能なのかなとは思っています。</p>
永井委員	<p>以前、南予地方局長の方からは「永ノ岡地区にある県の宿舎が空いているので是非使ってください」との話もありました。</p>
吉田委員	<p>真穴の副共選長の話ですが、共選場で働く人が不足しているという話も聞きました。例えば愛南町の共選場とかで人材共有はできないかという話もありました。むこうで良い人材があれば是非とのことでしたので、具体的な動きにはなると思います。ほかにも農林中金の方が来て、関連サイトで気象情報を流しています。これはHPで1km四方と詳細な情報が提供できるので、是非活用して欲しいと推薦されていました。HP上でもリンクできるので、考えて欲しいです。</p>
吉村課長	<p>共選の話ですが、難しい仕事もあるのではないのでしょうか。その場合、採用についてハードルが上がります。また機械類を動かせたとしても、少しは気のきいた方でないとなかなかではないのでしょうか。人材についてはJA内でも取り合いにはなってきますね。宿舎については、個人でも宿泊対応できるのでしょうか。例えば県の宿舎を20戸改良するなどに対応する方が良いのでしょうか、とりあえず一人、二人でもとにかくやってみたいと思います。</p>
山本委員	<p>JAは金銭的な面が課題になります。</p>
山田委員	<p>雇用についても、年から年中仕事があれば良いですが、どうしても季節労働は難しいと思います。</p>
吉田委員	<p>民間の雇い方を変えた形でコントロールしたいということはありません。</p>
木村委員	<p>河内晩柑については、全て売り切っていると思います。破棄処分のものはあるのでしょうか。または、販売促進が進んで商品が足りなくなることもあるのでしょうか。</p>
吉村課長	<p>大口を取ってもこちらで絶対量があれば良いのですが、未だ絶対量が少ない面もあるので、販促についても四国管内や中四</p>

	<p>国など、近場からやっではどうかということも考えています。</p>
木村委員	<p>知名度を上げることが一番でしょうか。まずは生果を売ることが先ということが引っかかっています。いざ販路をして、足りなくなった場合の対応ができていません。</p>
吉田委員	<p>そうです。そのため、断るためのハガキを数百枚送るとか、そういう対応をすることもあります。</p>
吉村課長	<p>高単価で売れば良いとは思っています。</p>
孝野委員	<p>底をつく状態も良いのではないのでしょうか。足りなければまた作るという形で。</p>
吉田委員	<p>ネットで買う方については、河内晩柑について9割は認知されているとも思っています。Amazon、楽天など儲からないとか言いながら、楽天は松山支所があります。そういうところのコーディネーターなどもありだと思います。楽天の人を講師として呼ぶのも面白いかもしれません。しかし、ネット販売についてもAmazon、楽天などで定番化しているなどは思います。</p>
吉村課長	<p>(閉会挨拶)</p>